

三菱自動車、クロスオーバーSUV『アウトランダー』を大幅改良 ～PHEV 性能を強化し、EV 航続距離は 100km 超に～

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、クロスオーバーSUV『アウトランダー』のプラグインハイブリッドEVモデル（以下『アウトランダーPHEV』）を大幅改良し、EV 航続距離や動力性能・快適性を向上させるとともに、内外装の質感向上と機能・装備の充実化を図り、10月31日（木）から全国の系列販売会社で販売を開始します。メーカー希望小売価格は、5,263,500円～6,685,800円（消費税10%込）。また、来年春には欧州市場、その後は豪州・ニュージーランド、北米などへ順次投入を予定しています。



『アウトランダーPHEV』P Executive Package

『アウトランダーPHEV』の大幅改良ポイント

- (1) 駆動用バッテリーを刷新し、EV 航続距離を約 20km 伸長して 100km 超に
- (2) サスペンション最適化や新タイヤ採用など、より上質で安定した乗り心地を実現
- (3) 内外装デザインを一部変更し、質感を向上
- (4) ナビゲーションの画面大型化やコネクティッド機能の拡充、シートベンチレーション機能などの採用により、利便性と快適性を向上
- (5) 音質へのこだわりを追求した2種類のオーディオシステムをヤマハ株式会社（以下ヤマハ）と共同開発し、全車に採用
- (6) 最上級グレード「P Executive Package」を新設定

当社社長 加藤 隆雄のコメント

「日常はEV走行、遠出はハイブリッド走行として、環境にやさしく気持ちのよい走りを実現するPHEVは、カーボンニュートラルの実現に向けた現在の最適解として、グローバルでますます需要が高まっています。今回、大幅改良した新型『アウトランダーPHEV』は、今月末より日本、来年春からは欧州で販売し、北米、豪州にも順次展開を拡大していきます。当社の技術の粋を集めていっそう洗練させ、『PHEVの三菱』と感じていただける仕上がりとなりましたのでご期待下さい」

新型『アウトランダーPHEV』スペシャルサイト

URL：https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander_phev/special/index.html
同サイトでは、新型『アウトランダーPHEV』の魅力を紹介しています。

1. 商品概要

『アウトランダーPHEV』は、当社の電動化技術と四輪制御技術の粋を集め、「威風堂々」をコンセプトとした三菱自動車のフラッグシップモデルです。本モデルは2021年12月にフルモデルチェンジし、力強く存在感のある外観デザインとPHEVシステムを含めた動力性能、ツインモーター4WDと四輪制御技術「S-AWC」からなる高い操縦安定性、3列7人乗りシートの採用による使い勝手の良さを高く評価いただいています。今回の大幅改良では、これらのご好評いただいている部分はキープコンセプトとしながら、「洗練」と「上質」を重点項目とし正常進化させました。

(1) 駆動用バッテリーを刷新し、EV航続距離を約20km伸ばして100km超に



搭載されるリチウムイオンバッテリーを刷新、バッテリー容量を約10%増の22.7kWhとし、EV航続距離が「M」グレードで従来の87kmから106km(WLTCモード)、その他グレードは83kmから102km(WLTCモード)と約20km伸ばしています。PHEVシステムでは、最高出力を約20%向上させました。それにより、電動車ならではのスムーズで力強い加速が持続し、高速道路での合流や追い越し時のストレスを軽減するとともに、エンジン始動頻度が低減し、より静かで気持ちの良いEVらしいドライブをお楽しみいただけます。また、アクセル操作時のモータートルク特性をマイルドにすることで、車両挙動が安定し快適性を向上させています。

今回新たに、走行速度やエンジンなどの状況に応じて自動的に開閉させるグリルシャッターをフロントバンパーグリル内に採用したほか、床下アンダーカバーやリアバンパーの形状を見直すことで空力性能が向上したのに加え、走行抵抗の低減やPHEVシステムなどの効率化により、ハイブリッド燃料消費率(WLTCモード)を「M」グレードで従来の16.6km/Lから17.6km/Lに、その他グレードは16.2km/Lから17.2km/Lへ燃費向上を実現しています。

また、駆動用バッテリーの容量拡大に合わせ、充電速度の向上を図りました。急速充電では、80%までの充電時間を6分短縮の約32分^{*1}とし、普通充電(AC200V/15A)では、前モデルと同じ約7.5時間で満充電が可能となり、より利便性を高めました。

*1…急速充電器の最大出力電流が105A以上の場合

(2) サスペンション最適化や新タイヤを採用し、より上質で安定した乗心地を実現 サスペンションチューニングを見直すとともに新開発タイヤを採用、路面からの振動やショックを低減し、より上質で安定した乗り心地を実現しました。さらに電動パワーステアリングのアシスト力の最適化と、出力の向上によるS-AWC制御の見直しにより、旋回中の安定性を向上。これにより、上質な乗心地とより安心感の高い操縦安定性を両立しました。

(3) 内外装デザインを一部変更し質感を向上



エクステリアは、フロントアッパーグリルをスムーズな造形にして質感を向上。フロントとリアのスキッドプレートでは、立体的なデザインへの変更に加え、カラーをチタニウムグレーとしました。また、リアコンビネーションランプをスモークタイプとし、Tシェイプのテールランプを際立たせるとともに、ターンランプ、バックランプをLED化。アルミホイール(20インチ、18インチ)は、より上質感と力強さを表現した新デザインへと変更することで、力強く存在感のあるデザインをさらに強調しています。ボディカラーでは、「ムーンストーングレーメタリック」を新たに採用。人気のソリッド色調グレーに、光の当たり方によりブルーのハイライトが映る特別なカラーとなっています。インテリアでは、最上級仕様のセミアニリンレザーシートのデザインを変更するとともに、シートやインストメントパネルなどに新色の「ブリックブラウン」を採用^{*2}することで、モダンでラグジュアリーな落ち着きのある室内空間としました。

* 2…「P Executive Package」専用内装

(4) ナビゲーションのモニター大型化やコネクティッド機能の拡充、シートベンチレーション機能などの採用により、利便性と快適性を向上

スマートフォン連携ナビゲーションでは、モニターサイズを従来の9インチから12.3インチに大型化し、コネクティッド機能(MITSUBISHI CONNECT^{*3})の機能拡充により、ナビゲーション上でPlaces API(Google^{*4}による目的地検索)や、ストリートビュー、航空写真ビューを見ることが可能となりました。また、運転席、助手席には、体とシート間の熱こもりを防ぎ快適なドライブを提供するシートベンチレーション^{*5}や、常に優れた後方視界を提供するデジタルルームミラー(フレームレス)^{*6}などを採用し、利便性と快適性を高めています。

* 3…「P Executive Package」「P」「G」に標準装備、「M」にはメーカーオプション設定

* 4… Google、Google マップは、Google LLC の商標または登録商標です

* 5…「P Executive Package」「P」に標準装備

* 6…「P Executive Package」「P」「G」に標準装備

- (5) 音質へのこだわりを追求した2種類のオーディオシステムをヤマハと共同開発し、全車に採用



「Dynamic Sound Yamaha Ultimate」

ヤマハと三菱自動車が『アウトランダーPHEV』専用に共同で開発したオーディオシステム「Dynamic Sound Yamaha Ultimate(ダイナミック サウンド ヤマハ アルティメット)」/「Dynamic Sound Yamaha Premium(ダイナミック サウンド ヤマハ プレミアム)」は、アーティストの息遣いまでも再現する、クリアで高い解像度の中高音やリアルな音へのこだわりを追求しています。また、スピーカーを搭載しているドアパネルの隙間を塞いでスピーカーボックスの役割を与えるとともに、スピーカー取付部の剛性も向上することで不要なノイズの発生を低減。それにより、太く躍動感のある低音を実現しています。

最上級グレード「P Executive Package」に採用の「Dynamic Sound Yamaha Ultimate^{*7}」では、計12個のスピーカーとデュアルアンプの搭載に加え、車速に応じて音量や音質を自動調整しロードノイズの影響を低減するサウンド補正機能により、あらゆる走行条件でも常に最高の音楽体験を提供いたします。また、「P」「G」「M」グレードに採用の「Dynamic Sound Yamaha Premium」では、ウーファの同軸上にツイーターを配置したコアキシャルスピーカーをリヤに採用して計8個のスピーカーを搭載し、高音から低音まで幅広い音域表現を実現しています。

*7…「P Executive Package」に標準装備、「P」「G」にメーカーオプション設定

「Dynamic Sound Yamaha Ultimate/ Premium」スペシャルサイト

URL：https://www.mitsubishi-motors.com/jp/products/sound_system

同サイトでは「Dynamic Sound Yamaha Ultimate/ Premium」について詳しく紹介しています。

- (6) 最上級グレード「P Executive Package」を新設定

新たに最上級グレード「P Executive Package」を加えた「P」「G」「M」の4グレード展開としました。ベーシックな「M」（5人乗り）では、運転支援技術と予防安全技術など最新機能を装備。充実装備の「G」（5人乗り/7人乗り）では、20インチアルミホイールやコネクティッド機能、エレクトリックテールゲートなどを採用。上級仕様の「P」（7人乗り/5人乗り）では、上質な内外装と運転席・助手席シートベンチレーションや、リヤシートヒーター、3ゾーン独立温度コントロール式フルオートエアコンなどの快適装備を標準装備。そして今回、新たに設

定する「P Executive Package」には、ヤマハと共同開発した上級グレードオーディオシステム「Dynamic Sound Yamaha Ultimate」を標準装備し、本グレード専用の「セミアニリンレザーシート」を採用しました。また、お客様からのご要望が多かった5人乗り仕様を「P」、「P Executive Package」に設定しました。

2. メーカー希望小売価格
(リサイクル料金、保険料、消費税を除く税金、登録等に伴う費用は含まれません)

グレード		エンジン	駆動方式	車両本体価格 (消費税 10%込)
M	5 人乗り	2.4L MIVEC DOHC 16 バルブ 4 気筒	ツイン モーター 4WD	5,263,500 円
G	5 人乗り			5,879,500 円
	7 人乗り			5,970,800 円
P	5 人乗り			6,314,000 円
	7 人乗り			6,405,300 円
P Executive Package	5 人乗り			6,594,500 円
	7 人乗り			6,685,800 円
エコカー減税		重量税免税(100%減税)		

※『アウトランダーPHEV』は令和5年度補正予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の対象となり、550,000円の補助金を受けられます。

『アウトランダーPHEV』は、世界初のSUVタイプで4WDのPHEVとして2013年より発売し、PHEVカテゴリーをリードしてきた当社のフラッグシップモデルです。「日常ではEV、遠出はハイブリッド」というコンセプトのもと、電動車ならではの力強く滑らかで静かな走り、様々な天候や路面でのドライブをどこまでも安心・安全に楽しめる電動SUVです。そして現在ではSUVタイプで4WDのPHEVとして、世界No.1の販売台数*8となっており、多くのお客さまにご好評いただいております。

*8…2024年9月末現在、自社調べ

以上